

総合的な探究の時間

「先輩から学ぶ」教育実習生による進路体験談

対象：1・2学年 令和6年5月31日（金）



5月31日（金）、本校卒業生の教育実習生3名より、高校時代どのような学生であったのか、大学ではどのような勉強をしているかなど多岐にわたりお話をいただきました。●●先生からは、読書の大切さや学生寮の生活において培ったことなどを話していただきました。●●先生は、日常生活の事象について数学を利用して行列の待ち時間を出す研究の楽しさや都心において一人暮らしの費用を教えてくださいました。●●先生からは、学力はお金に例えることができ、もし、お金がなければ買えない商品があるのと同じく、学力がなければ選べない大学がある。だからこそ、希望が叶うように学力をつけることが大切であるとお話していただきました。また、勉強とアルバイトの両立の秘訣についてなども話し、たいへん有意義な時間をすごすことができました。

【感想】

- ・読書習慣を身に付けて語彙力をつける大切さは、大学になってから実感すると仰っていたので、今聞くことができてラッキーだった。
- ・年齢が近い実習生の先生方のお話を聞き、自分の生活と通じるところがあると思った。
- ・実体験を基にした的確なアドバイスをいただいたので、参考にしながら高校生活を過ごしたい。
- ・大学では担任の先生がいないと聞いたので、提出物のめ切を自分で確認したり、先生の話論理的にメモする習慣をつけようと思った。



【これから取り組むべき課題】

- ・読書習慣をつける ⇒ スマホ依存にならないようにする
- ・進みたい大学や職業についてよく調べる
⇒ 目標を明確にして、勉強のモチベーションにする
- ・苦手科目の克服
⇒ 分からないところは友達や先生に聞いて理解する
⇒ 英語は大学でも重要だから特にしっかり勉強する（英検挑戦）
- ・時間を決めてメリハリのある行動をする
⇒ 小さい目標を立てて、モチベーションを保つ
- ・現実逃避ばかりしない ⇒ 時間は有限であることを意識する

